

# 産業教育常任委員会道内視察報告

～10月10日から12日までの3日間、道内先進地視察を行いました。～

## ◆視察地及び目的

### ■士別市・妹背牛町

- ①GPS（全地球測位システム）等の先端技術を活用した農作業の省力化、高度化など新しい農業機械作業体系に向けた取組等について
- ②士別市上士別地区及び妹背牛町妹背牛地区の圃場見学

### ◇意見（士別市）◇

士別市上士別地区においては、国営農地再編整備事業により水田圃場の標準区画が3.4haと大区画化されたことを最大限に生かす農業を展開するため、IT農業研究会を立ち上げ、先端技術を活用した農業の省力化・高度化・無人化（GPS等の活用）等の研究を進めており、衛星利用測位システム（GPS）を活用し、GPSガイダンス及び自動操舵装置を利用した、耕起、代かき、田植え作業等を既に実施している。

本町においても、国営緊急農地再編整備事業により圃場の整備を行っており、標準区画は士別市上士別地区よりも小さくなるものの、IT農業を取り入れることで、作業効率の向上、労働時間等の軽減が図られることが期待されるため、IT農業に関する研究会等を立ち上げ、調査・研究を行うことが望まれる。

### ◇意見（妹背牛町）◇

妹背牛町においては、国営農地再編整備事業により水田圃場の標準区画が2.2haと大区画化され、国営期成会GPS研究会やGNSS研究会を立ち上げ、上士別市上士別地区と同様にGPS等を活用したIT農業に取り組んでいる。

また、圃場内の高低差や凸凹の実測については、※RTK-GPSシステムを使い4輪バギーにより計測をして高低差マップを作成し、圃場均平化のため、他のレーザーレベラーと干渉しないGPSレベラーシステムを活用して均平精度の向上や省力化等、効率的な均平作業を実施している。

本町においても、上士別での意見同様にIT農業に関する研究会等を立ち上げ、調査・研究することが望まれる。

※RTK-GPSシステム リアルタイムキネマティックGPS測量の略。  
最高精度は数センチという精密なGPSシステム



【10月10日士別市での様子】



【10月11日妹背牛町での様子】



【10月11日深川市での様子】

## ◆視察地及び目的

### ■深川市

- ①深川市多目的低温倉庫の導入経過及び活用状況について
- ②深川市多目的低温倉庫の見学

### ◇意見◇

深川市の多目的低温倉庫は市が事業実施主体となり、JAきたそらちが指定管理者として運営を行っている。多目的低温倉庫については、当初はJAきたそらちが整備する方針で、それに市が支援する方法を検討していたが、深川市は米が主体ということで、米の町として生き残るためにも、施設整備については市も一体となって推進することが望ましいという考えからであった。

今回の整備は、農業を基幹産業とする深川市としては、地域にとって有利な財源を用いて総合的に事業を推進するにはどのような手法が良いのかを検討した結果、多目的低温倉庫については国庫補助事業の対象外であり多額の費用を要することで農業者負担も多く、今後の農業経営に大きな影響を及ぼすということから、農業者の負担軽減のために市が事業主体となり整備を進めている。

本町においても、農業が基幹産業ということから農業施設整備については、災害時に備蓄も備えた深川方式を取り入れることも検討する必要があると考える。

## ◆視察地及び目的

### ■留萌市

- ①空き店舗を活用した新たな交流拠点「るもいプラザ」の整備や賑わい創出を目指した複数店舗の誘致、チャレンジショップの設置等、留萌市商店街振興組合連合会の独自の取り組みや行政との連携について
- ②るもいプラザの見学

### ◇意見◇

空き店舗の活用については、商店街の活性化やまちなかの交流拠点として役割も大きく、本町においても、行政、民間等で空き店舗活用について十分検討することが必要と考えます。

また、継続して事業をするためには、行政のバックアップの必要性も感じられました。



【10月12日留萌市での様子】